

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県 総社市

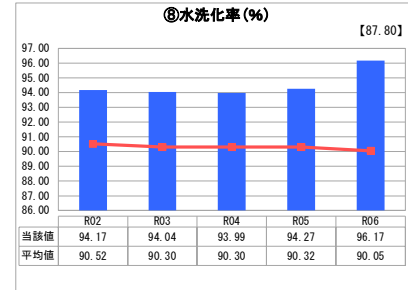
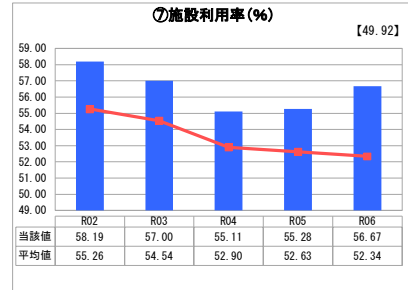
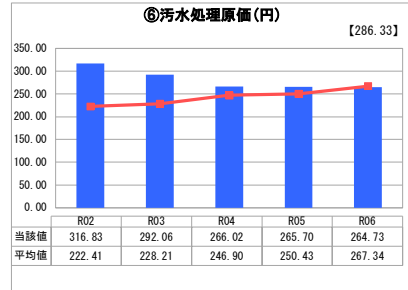
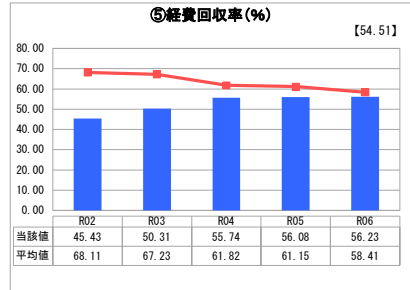
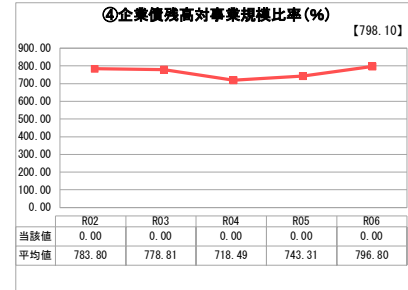
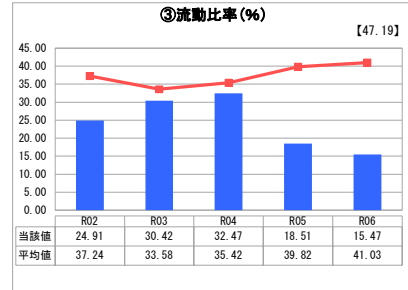
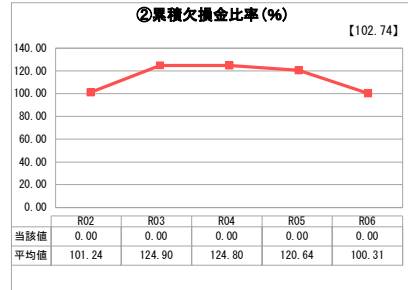
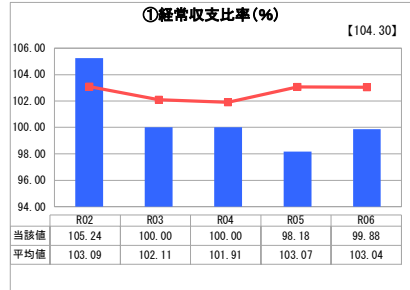
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	85.92	8.01	97.34	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
69,625	211.90	328.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,566	3.91	1,423.53

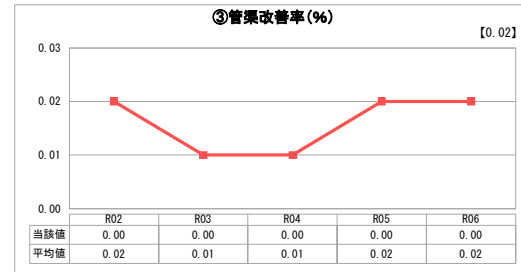
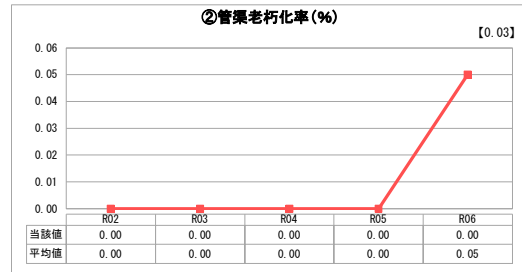
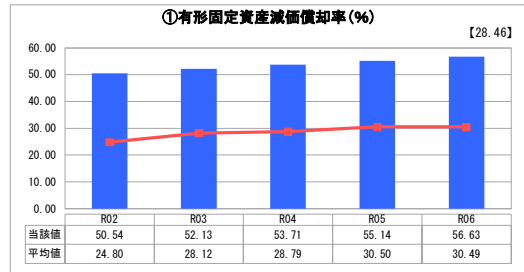
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は概ね100%前後で推移していますが、使用料収入の不足を一般会計からの繰入金で賄っている状況です。
 「③流動比率」は、多額の企業債償還により全国平均及び類似団体平均を下回っています。企業債の発行を抑制し、指標の改善に努めていきます。
 「⑤経費回収率」は経年的には改善しているものの、依然として100%を大きく下回り、汚水処理費を使用料で十分に賄えていない状況です。「⑥汚水処理原価」は平均並みであることから、維持管理の効率化と、使用料収入の確保により改善を図る必要があります。
 「⑦施設利用率」は類似団体を上回っていますが、施設の処理能力の半分程度であることから、更なる施設の効率的な稼働方法を検討していく必要があります。「⑧水洗化率」は類似団体を上回っていることから、引き続き水洗化率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業は、昭和57年から事業着手しているため、老朽化が進んだ施設が多く、「①有形固定資産減価償却率」が類似団体や全国平均よりも高くなっています。
 今後は、供用開始時期の早い地区から順に機能診断を進め、健全度に応じた施設・設備の更新を段階的に進めていきます。
 「②管渠老朽化率」「③管渠改善率」は、法定耐用年数を過ぎた管渠がないことから、該当がありません。

全体総括

収支のバランスが十分に確保できておらず、現状では事業単独で安定的に経営を継続することが難しい状況が続いています。
 また、農業集落排水事業は過疎化の進行に伴い人口減少が見込まれる地域が多い傾向から、将来の収入環境は一層厳しくなることが想定されます。
 持続可能な事業運営に向けて、使用料の見直し等による収入確保に加え、施設運転の効率化や汚水処理経費の縮減を進め、収支改善につながる取り組みを進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。